

海風 2017



題字: 小村好

〒896-1201
藤原川内中上曾町中
191-1

上曾中学校生徒会

清音: (表) 野口優花
家古真央
(裏) 小村楓
柳木琴奈

リ-ガ: 小村楓

継続は力なり

〜努力は必ず報われる〜

12月5日、絶好の持久走日和の中、校内持久走大会が行われた。男子は5キロ、女子は3キロのコース。今までの練習の成果を發揮し、全員が完走することができた。

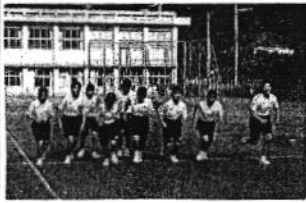


「パン」というピストルの合図で選手が一斉に走り出した第7回持久走大会。全員が真剣な顔で校庭をあとにした。

最初の難関は校舎外周を抜けてからの直線だ。目印のガソリンスタンドまで、オーバーパーイスにならないように、ひたすら走る。沿道からの声援が何より励みになる。保護者や地域の方々、小



沿道からの応援



目指せ新記録!

学生からの「がんばれ」の声。コース終盤の難関は、中津橋付近の上り坂。ゴールはもうすぐなのに、なかなかたどりつかない。腕を振り、スピードを上げて、足を前に、前に、ゴールを目指した。

結果

男子	一位 小村 楓
	二位 内山 翔斗
	三位 宇宿 陽翔
女子	一位 内山 百恵
	二位 家吉 真央
	三位 柳木 琴奈

40周年企画「海風」タイムトラベル④

校長室前にずらりと並び賞状。「海風」が学校新聞コンクールで得た輝かしい功績と伝えた「一席」は15回。新聞作りに携わるようになった。今年度の「考風」は佳作を受賞した。その結果に納得している一方で、さらに上位を目指したいという気持ち

がある。今月号から一、二年生を中心とした新メンバーで臨む新聞作り。これを機にもう一度内容を見つめ直そうということになった。その根底にあるのは、「読む人を喜ばせた」という思いだ。読者アンケートでは、数多くの「毎号楽しませてください」という期待と励ましの言葉をいただいた。

新たな挑戦。また「生徒の様子」や「生徒や先生へのインタビュー」など日ごらの学校生活への関心が高いということもわかった。読む側の「読みたい」という関心と、作る側の「伝えたい」という思いをいかに組み合わせるの「海風」への挑戦は、今始まったばかりだ。(梶原小村内山)

僕は、日々の練習が実を結び、一位という結果が出たと思っっている。これからも練習をしていき、来年の持久走大会でも良い結果を残したい。(小村)



私は、三年連続で一位をとることができ、うれしかった。とても疲れたが、試走のときよりもタイムが縮んだのでよかった。この持久走大会はとてもいい思い出になった。(内山)

(野口・家吉・山下)

甑の恵みに感謝

魚の大切さを知った

11月8日、平良漁協の協力のもと、水産体験学習が実施された。今回は漁船に乗り定置網漁の体験をした。

カジキマゴロ
獲る漁師さん



魚の様子は迫力満点だった。「わあ」という歓声とともに私たちが目に...



声を出して喜ぶ。漁師の方が処理する姿は力強かった。これに機いみんむのやる気がさらに喚起された。大量に魚が入った網を引く手にも自然と力が入っていた。



① 定置網を引き上げる生徒と漁師さん



水揚げ後は、魚の選別だった。「これ何の魚だ、けり」という声は女子の方がかつた。あつという間の三時間だ。新鮮さが命というだけあって、素早い作業ばかりだった。今回、漁業の一端ではあるが体験できてよか。た。「水産業に興味を持った」「魚の種類について調べたい」という声も多く上がり、顔身でまえる水産業をみつめるよい機会となった。
(小村・中尾・杵木)

視

ジャコレンジャー再び参上!

11月13日に新大光明神マラソン大会で、若田美味さんとともにジャコレンジャーを販売した。

試作 1/16



生徒アンケートを基に試作を実施。試行錯誤の上、新しい味も決定。準備 1/12



④ 宇宿陽翔さんのイラスト

容器 200個の準備も一時間足らずで終了。

販売 1/13



最初は、完売できるか不安だった。しかし予想以上の長蛇の列。準備も販売がだれくなる。始めは小さかったが、活先での売り込みの声も次第に大きくなった。

購入者が口々に「おいしい」の一言を言ってくれた。新作のヒザ味も好評だ。た。何よりうれしかったのは、「上中庄さんほれ」や「来年も食べたい」という温かい言葉だった。完売後は、自然とみんなが笑顔になった。
(川加・宇宿・中尾)



若田美味さんから

2年続けて販売できたのは上中のみんながおいしく食べてもらえようという一生懸命考えたからと感じています。私にとって一番のキヒナゴ料理はジャコレンジャーです。みんなは是非、キヒナゴのおいしさを伝えてくれることを願っています。

編集後記

今月号から、一、二年生が中心となった新聞作りがスタートしました。新編集長や班長は11月に行われた新聞講座に参加し、そのまま学んだレイアウトの効果・写真の使い方、見出しの工夫などをマフそく今月号に取り入れています。これから海風にもご期待ください。
(野口 優花)

